

公民科学習指導案（倫理）

実施期日	令和2年11月10日
実施場所	公民科講義室
実施学級	2年3組 42人
授業者	教諭 伊久良 豊秀
使用教材	教科書 改訂版 現代の倫理（山川出版社） 資料集 最新図説 倫理（浜島書店） ワークシート①（センター過去問演習用） ワークシート②（記述汎用）
使用教具	電子黒板機能付きプロジェクター

1 単元

第3部 現代社会と倫理 第1章 現代社会を生きる倫理
第3節 民主社会の成立 1. 自然法思想 2. 社会契約説

2 教材観

「選挙権年齢が引き下げられ、更に令和4年度からは成年年齢が18歳へと引き下げられることに伴い、高校生にとって政治や社会は一層身近なものとなるとともに、自ら考え、積極的に国家や社会の形成に参画する環境が整いつつある」なかで、本教材は、社会の成立過程について探求した先哲の思想を学ぶものである。

「中央教育審議会答申では、各教科等の具体的な教育内容の改善については、教育基本法第2条（教育の目標）や学校教育法第21条（義務教育の目標）などの規定を踏まえて提言が行われている。公民科においては、特に教育基本法及び学校教育法に規定されている『公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと』は、公民科学習の究極の目標である」ことから、この教材は、公共の精神に基づいて、社会は形成されたことを、理解するために適した教材であると考えられる。（カギ括弧は「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説公民編平成30年7月」から引用）

3 生徒観・指導観

授業対象のクラスは、2年文系で、意欲的に学習に取り組み、積極的に授業に参加する生徒が多い。

日々の授業を構想するなかで、今、「育む資質・能力の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めること（「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説公民編平成30年7月）」を目的とした指導計画が求められている。

このことから、現段階での指導においては知識の定着を前提に、①主体的「自ら考える」・②対話的「互いの考え・答えを確認し合う」・③深い学び「考えをまとめる」ことを意識した指導を試みたい。

4 単元の評価規準と指導計画

(1) 単元の評価規準

学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民主社会の形成の基礎となった先哲の思想を学び，人権の由来，自由と責任，権利と義務など，民主社会の倫理的な見方や考え方を，個人と社会との関係を主な視点として考える。 			
評価の観点	①関心・意欲 ・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自由・平等に生きる権利が尊重される民主社会は，どのような思想から生まれたのかに関心をもち，「民主主義とは何か」について考えようとする意欲と態度をもっている。 		
	②思考・判断 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・近代自然法と社会契約説を手掛かりに，すべての人間に生来的にそなわる自然権を保障するための民主国家の構築の理論を学び，民主社会の目的と基本構造について考察する。 		
	③資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集の記述を参考に，民主社会の形成の基礎となった先哲の思想を，対話やワークシート記入を通して，自分の意見を伝えたり，他の意見を参考にして，考えをまとめることができる。 ・オンライン教材を活用できる。 		
	④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・自然法や社会契約の思想を手掛かりに，民主社会の成立根拠や目的について理解し，それを公民としての自らの在り方生き方に活かす知識として身に付けている。 		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート②提出 ・オンライン教材の取り組み 			

(2) 指導計画（全1時間）

学習内容	①関心・意欲 ・態度	②思考・判断 ・表現	③資料活用の 技能	④知識・理解
1. 自然法の思想 2. 社会契約説 (本時)	○	○	○	○

5 本時の実際

- (1) 本時の目的… 4の(1)の「学習内容」
- (2) 本時の問い… 「ルールのない社会で、あなたはどう暮らしますか。その結果、どうなりますか。」
- (3) 評価… 4の(1)の①～④を、ワークシート①及びオンライン教材の取り組み状況に基づいて、3段階評価を行う。
- (4) 実際 (注 ws…ワークシート)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 5分	前時の確認 ニュース視聴 本時の問い確認	ws②【1】記入 <u>対話</u> (感想を周囲と交換) し、社会事象への捉え方の相違点など確認することで、 <u>思考を深める</u> 。	適切なニュースを選択する	①②
展開 30分	1 自然法思想 グロティウス 2 社会契約説 ホッブズ 万人の戦い ロック 議会による民主主義 ルソー 直接民主制	教科書・資料集を <u>活用</u> し、思想家の考え方を <u>理解</u> する。 →ws①に取り組み、 <u>知識</u> の獲得、 <u>理解</u> を確認する →周囲との <u>対話</u> を通して、 <u>思考を深め</u> 、 <u>知識・理解</u> の定着をはかる。 (上記の活動を、思想家ごとに繰り返す。)	学習箇所を、明確に提示する。 問題の <u>理解度</u> の把握に努める。 学習活動に、 <u>意欲的</u> であるかを確認する。	①② ③④
終末 15分	本日の問い 本時のまとめ	(可能なら事前に対話を通して、意見交換し、) ・ws②【2】に取り組み、問いに対する <u>判断</u> をし、自分の <u>思考</u> や他の意見に対する批評を文章として <u>表現</u> する。 ・ws②【3】に取り組み <u>知識</u> の整理をする。 ・オンライン教材を確認する。	時間管理に注意する。 ws②の取り組み状況から、 <u>意欲</u> や <u>態度</u> について評価する。 オンライン教材を活用する <u>技能</u> や、 <u>知識</u> の定着を評価する。	①② ④③

*オンライン教材は、グーグルフォームにて作成し、グーグルクラスルームに掲載